

令和6年度関東高等学校体育大会ソフトテニス競技埼玉県予選会

女子個人 令和6年5月3日(金) [狭山智光山公園]

男子個人 令和6年5月5日(日) [狭山智光山公園]

【競技上の注意】

1.競 技

- (1) 本大会は(公財)日本ソフトテニス連盟ソフトテニスハンドブックに準拠し、また顧問総会資料の申し合わせに従って全て7ゲームマッチで行う。
- (2) プレーヤー、審判とも公認の正しい服装でコートに出場する。ゼッケンは必ず四隅を留める。
- (3) 大会使用球は、男子「赤エム」・女子「KENKO」とする。
- (4) 試合前の練習は1分以内とする。練習終了後はベンチに戻らずに速やかにマッチを開始する。

2.進 行

- (1) 進行表に従って行う。ベンチは番号の小さいペアが通路側を使用する。
次の対戦のペアは試合コート付近で待機する。
試合の進行状況によりコート変更の場合があるので、選手・審判は放送に注意する。
- (2) 棄権や選手変更の連絡は本部前に掲示するので、各ペアで確認をする。
- (3) 勝者のペアは試合終了後、速やかに採点票を本部へ提出する。

【確認】競技規則 第44条[解説17]

そのマッチへ出場の通告を受けたプレーヤーがコートに出場しない場合、アンパイヤーがコートに到着後、5分経過で警告1回とし、3回を持って失格とする(15分経過で失格)。なお、警告を受けたプレーヤーが失格する前(警告2回まで)に出場した場合は、それまでに与えられた警告はそのマッチ中有効となる。

3.審 判

- (1) 審判を行う際は、審判資格ワッペンを左胸に着用する。
- (2) 各コート第1試合は進行表に記載されたペアが審判を行う。第2試合以降は原則として敗者審判とする。
- (3) 審判は採点票の選手名を確認して対戦を始める。
- (4) 試合終了後は勝敗及びスコアの確認をし、勝者に勝者サイン欄に記入させ採点票を渡す。

4.そ の 他

- (1) すべての引率責任者及び外部指導者・部活動指導員は、会場内では必ずIDカードを着用する。
- (2) ベンチコーチを許可する。また引率責任者は、試合の円滑な進行及び選手の健康に配慮する観点から試合をしているコート付近で観察することが望ましい。
- (3) 部旗等の掲揚は許可された場所のみとする。
- (4) 会場内では原則右側通行とし、ボールを使った練習はしない。
- (5) 会場内での指定された場所でのみ、持ち込みテントの設営を許可する。
- (6) 貴重品の管理には十分注意する。またゴミは必ず持ち帰る。
- (7) 水分補給・休養等しっかり取って体調管理に留意し、また十分な感染症対策及び熱中症対策を講じる。体調不良者が出た場合は、速やかに本部へ連絡する。